

2017年業績紹介

(学会・論文・研究費一覧・学位取得者)

2017年業績紹介

業績

2017年学会一覧

《学会発表（国内）》

2017.1.21 第23回札幌肝不全懇話会（札幌）

HBV劇症肝不全で急速に肺アスペルギルス症を発症し、肝移植適応を失った1例

腰塚靖之、川村典生、渡辺正明、後藤了一、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

自己免疫性肝炎に対しABO不適合移植を実施するも死亡した1例

腰塚靖之、川村典生、渡辺正明、後藤了一、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

2017.1.20 第86回大腸癌研究会（盛岡）

腹腔鏡下Miles'手術におけるSSI予防への工夫

吉田雅、本間重紀、大野陽介、市川伸樹、川村秀樹、武富紹信

2017.1.23 第35回肝移植研究会（大阪）

先天性胆道拡張症に発生した多発胆道癌に対し、生体肝移植と脾頭十二指腸切除を同時に実施した1例

腰塚靖之、川村典生、渡辺正明、後藤了一、太田稔、川久保和道、桑谷将城、三橋智子、山下健一郎、武富紹信、蒲池 浩文、神山 俊哉、嶋村 剛

2017.1.27 第7回手術リスクマネジメントフォーラム（高知）

消化器外科領域におけるVTEマネジメント（特別講演）

武富紹信

2017.2.17-18 第34回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会（名古屋）

根治的切除9年後に孤立性腋窩リンパ節転移を来した結腸人工肛門部癌の一例

南波宏征、本間重紀、吉田雅、今泉健、大野陽介、市川伸樹、川村秀樹、武富紹信、高橋典彦

2017.2.25 第29回代用臓器・再生医学研究会（札幌）

イメージング質量分析（IMS）による阻血再灌流における新規予後予測マーカーの探索

橋本咲月、深井原、梅本浩平、木村太一、大谷晋太郎、中藪拓哉、早坂孝宏、三野和宏、恵淑萍、千葉仁志、嶋村剛、武富紹信

2017.3.1 第6回小樽内視鏡外科フォーラム（小樽）

M&M カンファレンス

本間重紀

2017.3.4 第29回日本小腸移植研究会（名古屋）

ヒルシスブルグ病類縁疾患患児に対する外科治療戦略の検討

脇坂和貴、宮城久之、本多昌平、湊雅嗣、嶋村剛、武富紹信

2017.3.4 第96回日本小児外科学会北海道地方会（札幌）

大腰筋部分切除を要した後腹膜悪性ラプドイド腫瘍の1例

宮城久之、本多昌平、湊雅嗣、奥村一慶、関俊隆、井口晶裕、武富紹信

2017.3.4-5 第120回日本消化器病学会北海道支部例会（札幌）

進行肝内胆管癌に対して切除とGemcitabineにより長期予後を得た1例

長津明久、神山俊哉、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、蒲池浩文、武富紹信

腫瘍径10cm以上の巨大肝細胞癌における肝切除後の再発形式と予後の検討

若山顕治、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、永生高広、島田慎吾、蒲池浩文、武富紹信

2017.3.8-3.10 第89回日本胃癌学会（広島）

腹腔鏡下胃全摘と開腹胃全摘における食道空腸吻合の成績の比較

川村秀樹、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、武富紹信、高橋昌宏

2017.3.11 第16回東日本肝移植周術期研究会（東京）

HIV/HCV重複感染肝硬変に対し脳死肝移植を施行した1例

後藤了一、川村典生、腰塚靖之、渡辺正明、瀬田恒一、遠藤知之、藤本勝也、近藤健、鈴木友己、山下健一郎、嶋村 剛

2017.3.11 第44回日本脾・脾島移植研究会（京都）

脾臓移植：予後

嶋村剛、鳴海俊治

2017.3.17 第50回制癌剤適応研究会（徳島）

TACE不能/不応肝細胞癌切除後残肝再発に対するシスプラチン動注+UFT療法の治療成績

若山顕治、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、島田慎吾、永生高広、蒲池浩文、武富紹信

2017.3.24 第2回ぐんま周術期研究会（前橋）

消化器外科領域におけるVTEマネジメント（特別講演）

武富紹信

2017.4.27-4.29 第117回日本外科学会定期学術集会（横浜）

北海道における外科教育の取り組み

武富紹信

生体肝移植におけるドナー年齢の検討

川村典生、腰塚靖之、渡辺正明、後藤了一、太田稔、鈴木友己、神山俊哉、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

肝内胆管癌の局在および多様性から見た術式選択 肝内胆管癌の局在による臨床病理学的検討

折茂達也、神山俊哉、蒲池浩文、横尾英樹、若山顕治、永生高広、島田慎吾、武富紹信

ステロイド、NSAIDs長期併用患者に発生した肝癌、胃癌に対し肝外側区切除、幽門側胃切除同時手術施行後、残胃穿孔、Y脚吻合部出血を認めた1例

中本裕紀、川村秀樹、市川伸樹、杉山昂、大野陽介、吉田雅、本間重紀、武富紹信

胃切除後に診断し得た胃癌、腎癌、悪性リンパ腫の3重複癌の1例

南波宏征、川村秀樹、本間重紀、吉田雅、市川伸樹、大野陽介、杉山昂、中本裕紀、武富紹信

下大静脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対してアイエーコール動注+UFT内服併用療法を行い長期CRが得られた1例

田中友香、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、永生高広、島田慎吾、蒲池浩文、武富紹信

移植前ドナー特異的抗体の生体肝移植後早期グラフト機能不全への影響

巖築慶一、後藤了一、深作慶友、川村典生、腰塚靖之、渡辺正明、

太田稔、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

当院における非代償性肝硬変症例の脳死肝移植待機中死亡の特徴
杉山昂、後藤了一、川村典生、腰塚靖之、渡辺正明、神山俊哉、
山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

PTPE後非塞栓葉における経時的門脈血流変化と肝再生の検討
島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、永生高広、
蒲池浩文、武富紹信

網羅的DNAメチル化解析を用いた肝芽腫遠隔転移予測マーカー
の探求
湊雅嗣、本多昌平、宮城久之、北河徳彦、新開真人、田中水緒、
田中祐吉、武富紹信

希少がんにおける個別化医療を目指した分子マーカーの確立 肝
芽腫エビゲノム異常解析
本多昌平、湊雅嗣、宮城久之、藤好直、檜山英三、北河徳彦、新
海真人、田中水緒、田中祐吉、武富紹信

腹腔鏡下大腸切除術における腹部手術既往の影響
吉田雅、本間重紀、大野陽介、市川伸樹、川村秀樹、武富紹信

炎症性腸疾患におけるSTAT1を介したシグナルカスケードの関
与
木井修平、北村秀光、豊島雄二郎、岡田尚樹、項慧慧、寺田聖、
大野陽介、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、川村秀樹、高橋典彦、
武富紹信

IL-6は担がん環境下においてタイプI型抗腫瘍免疫応答を抑制し、
大腸がん肝転移を促進する
豊島雄二郎、北村秀光、大野陽介、項慧慧、寺田聖、市川伸樹、
吉田雅、本間重紀、川村秀樹、高橋典彦、武富紹信

大腸癌肝転移に対する再肝切除のタイミング
横尾 英樹、神山俊哉、折茂達也、若山顕治、永生高広、島田慎吾、
蒲池浩文、武富紹信

腹腔鏡下胃全摘術後の食道空腸吻合の成績 linear staplerと
circular staplerの比較
川村秀樹、大野陽介、吉田雅、市川伸樹、本間重紀、武富紹信、
高橋昌宏

胃癌における上皮間葉転換(EMT)に注目した血中腫瘍細胞(CTC)
の検出法
石黒友唯、崎浜秀康、大野陽介、吉田雅、市川伸樹、本間重紀、
川村秀樹、武富紹信

Stage II/III大腸癌根治切除後における術前末梢血中単球数の再
発予測バイオマーカーとしての有用性
大野陽介、本間重紀、吉田雅、市川伸樹、川村秀樹、武富紹信

当院における腸管不全症例と移植適応
藤好直、本多昌平、宮城久之、湊雅嗣、柴田賢吾、脇坂和貴、田
中友香、武富紹信

TACE不能/不応な肝細胞癌切除後残肝再発に対するシスプラチ
ン動注+UFT療法の検討
若山顕治、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、島田慎吾、永生高広、
蒲池浩文、武富紹信

肝門部領域胆道系腫瘍手術における血行再建手技
蒲池浩文、折茂達也、永生高広、敦賀陽介、島田慎吾、若山顕治、
横尾英樹、後藤了一、山下健一郎、神山俊哉、武富紹信

胆嚢癌との鑑別を要した黄色肉芽腫性胆嚢炎の4切除例
柴田賢吾、蒲池浩文、折茂達也、永生高広、島田慎吾、若山顕治、
敦賀陽介、横尾英樹、神山俊哉、武富紹信

Unresectable/borderline resectable膵癌におけるNACRT後
の神経叢浸潤に対する治療効果と適切なSMA神経叢郭清範囲に
関する検討
永生高広、蒲池浩文、折茂達也、敦賀陽介、阪田敏聖、坂本譲、
島田慎吾、若山顕治、横尾英樹、神山俊哉、三橋智子、武富紹信

網羅的糖鎖解析による肝細胞癌の浸潤能と糖鎖異常の検討
高橋秀徳、神山俊哉、柿坂達彦、相山健、島田慎吾、若山顕治、
永生高広、折茂達也、蒲池浩文、横尾英樹、西村紳一郎、武富紹
信

ヒト化マウスモデルを用いたヒトT細胞のアロ抗原に対する反応
性の検討
深作慶友、後藤了一、巖築慶一、財津雅昭、渡辺正明、川村典生、
腰塚靖之、山下健一郎、嶋村剛、武富紹信

水素ガスによるラット肝長期冷保存再灌流障害軽減効果の検討
エンドセリン-1による血管収縮効果への影響
梅本浩平、深井原、島田慎吾、石川隆壽、若山顕治、大谷晋太郎、
山下健一郎、嶋村剛、武富紹信

進行胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術の周術期成績、長期成績の検
討
渋谷一陽、川村秀樹、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、
武富紹信

潰瘍性大腸炎に対するReduced Port Surgery
本間重紀、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、川村秀樹、武富紹信

新生児期に病型診断が困難であった直腸肛門奇形症例の検討
宮城久之、本多昌平、湊雅嗣、武富紹信

NBNC肝細胞癌切除例における背景肝脂肪含有量と術後短期成
績の検討
岡田尚樹、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、島田慎吾、
永生高広、蒲池浩文、岡田宏美、畑中佳奈子、武富紹信

肝癌ソラフェニブ治療における血管新生関連因子Tie2-
expressing monocytes(TEMs)の意義
正司裕隆、由雄祥代、間野洋平、土肥弘義、深井原、考藤達哉、
武富紹信

混合型肝癌切除症例の検討
脇坂和貴、神山俊哉、横尾英樹、島田慎吾、永生高広、若山顕治、
折茂達也、蒲池浩文、武富紹信

抗メソテリン抗体(MORAb-009)によるヒト膵癌細胞株に対する
抗腫瘍効果の検討
松澤文彦、蒲池浩文、水上達三、永生高広、畑中豊、古内恵司、
神山俊哉、武富紹信

生体肝移植ドナー肝グラフト採取術におけるPringle法 行うvs
行わない「行わない」(ディベート)

嶋村剛、神山俊哉

肝細胞癌切除症例におけるWFA-M2BP測定の意義（ランチョンセミナー）

武富紹信、藤好直

2017.4.28 第19回外科分子細胞治療研究会（横浜）

癌細胞株を用いた網羅的糖鎖解析による糖鎖異常と癌悪性度の解析～CRISPR/Cas9 systemが可能にする新展開

武富紹信、深井原

2017.5.11-13 第54回日本小児外科学会学術集会（仙台）

肝芽腫の分岐進化に関わるmicroRNA発現異常

本多昌平、湊雅嗣、宮城久之、藤好直、北河徳彦、田中祐吉、田中水緒、新開真人、武富紹信

肺葉外分画症および食道裂孔ヘルニアを有する患児に対し一期的に腹腔鏡下手術を施行した一例

宮城久之、本多昌平、浜田弘巳、湊雅嗣、近藤享史、奥村一慶、河北一誠、武富紹信

網羅的DNAメチル化解析を用いた肝芽腫脱メチル化異常の解析

湊雅嗣、本多昌平、藤好直、宮城久之、新開真人、北河徳彦、田中水緒、田中祐吉、武富紹信

右房内腫瘍塞栓にて心不全徴候を呈し緊急手術となった腎芽腫に対する外科的治療戦略の検討

近藤享史、宮城久之、湊雅嗣、本多昌平、若山顕治、横尾英樹、井口晶裕、橘剛、神山俊哉、武富紹信

胸腰椎椎間孔内への進展を認めた後腹膜悪性ラブドイド腫瘍の1例

奥村一慶、本多昌平、宮城久之、湊雅嗣、関俊隆、井口晶裕、武富紹信

幼児期に便秘を契機に発見され一期的切除を施行したAltman III型仙尾部奇形腫の1例

河北一誠、宮城久之、本多昌平、湊雅嗣、近藤享史、奥村一慶、井口晶裕、武富紹信

2017.5.20-21 第27回日本臨床工学会（青森）

未来の臨床工学技士を考えた新たな業務展開：肝移植医療における臨床工学技士の役割

太田稔、岡本花織、千葉裕基、柏浦愛美、山本真由美、腰塚靖之、渡辺正明、後藤了一、山下健一郎、嶋村剛

2017.6.7 第43回急性肝不全研究会（広島）

HEVによる昏睡型急性肝不全症例についての検討

腰塚靖之、川村典生、渡辺正明、後藤了一、太田稔、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

2017.6/7-10 A-PHPBA2017、第29回日本肝胆膵外科学会・学術集会（横浜）

Transparenchymal glissonean approach: TGA - A surgical technique to access the right sided hepatic artery and portal vein for advanced perihilar bile duct cancer

Kamachi H, Orimo T, Tsuruga Y, Shimada S, Wakayama K, Yokoo H, Goto R, Yamashita K, Kamiyama T, Taketomi A

Hepatic arterial infusion of cisplatin combined with oral

administration of Tegafur/Uracil for recurrent TACE refractory HCC after liver resection.

Wakayama K, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Shimada S, Einama T, Kamachi H, Taketomi A.

Salvage hepatectomy for recurrent hepatocellular carcinoma after radiofrequency ablation and/or transcatheter arterial chemoembolization

Orimo T, Kamiyama T, Yokoo H, Wakayama K, Shimada S, Einama T, Kamachi H, Taketomi A

尾状葉原発肝細胞癌切除例の検討

島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、永生高広、長津明久、蒲池浩文、武富紹信

2017.6.16 第5回北海道小児外科フォーラム（札幌）

肝芽腫化学療法施行時におけるカルバペネム系抗菌薬の使用経験
坂本沙織、本多昌平、宮城久之、湊雅嗣、荒桃子、若山顕治、神山俊哉、嶋村剛、杉山未奈子、長祐子、井口晶裕、武富紹信

2017.6.29 札幌厚生病院医学講演会（札幌）

脂肪肝と肝臓外科（特別講演）

武富紹信

2017.6.30 第92回日本医療機器学会（横浜）

昏睡型急性肝不全に対して可搬型持続的オンライン血液透析濾過装置を用いて意識覚醒を得た1例

太田稔、岡本花織、千葉裕基、後藤了一、腰塚靖之、川村典生、渡辺正明、山下健一郎、嶋村剛、滝川康裕

2017.7.1 第111回日本臨床外科学会北海道支部総会（釧路市）

経皮経肝的門脈塞栓術後の非塞栓葉における経時的門脈血流変化と肝体積増大因子の検討

島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、長津明久、蒲池浩文、武富紹信

尾状葉原発肝細胞癌の予後および臨床病理学的検討

島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、折茂達也、永生高広、長津明久、蒲池浩文、武富紹信

2017.7.6-7 第53回日本肝癌研究会（東京都）

尾状葉原発肝細胞癌の予後および臨床病理学的検討

島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、折茂達也、永生高広、長津明久、蒲池浩文、武富紹信

肝細胞癌の肝予備能評価

折茂達也、神山俊哉、蒲池浩文、横尾英樹、若山顕治、永生高広、島田慎吾、武富紹信

TACE不能/不応な肝細胞癌切除後残肝再発に対するシスプラチン動注+経口UFT併用療法の検討

若山顕治、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、島田慎吾、永生高広、蒲池浩文、武富紹信

2017.7.7 第87回大腸癌研究会（四日市）

初発大腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除術の治療成績

吉田雅、本間重紀、大野陽介、市川伸樹、川村秀樹、武富紹信

Reduced port surgery for lower rectal cancer

Homma S, Ohno Y, Ichikawa N, Yoshida T, Kawamura H, Taketomi A

Loop stoma in colorectal surgery

Yoshida T, Homma S, Ohno Y, Ichikawa N, Kawamura H, and Taketomi A

初発大腸癌切除症例における重複癌の検討

大野陽介、本間重紀、市川伸樹、吉田雅、川村秀樹、武富紹信

2017.7.20-22 第72回日本消化器外科学会総会（金沢）

Arterial reconstruction for the surgical resection of perihilar biliary malignancy

Kamachi H, Orimo T, Tsuruga Y, Shimada S, Wakayama K, Yokoo H, Goto R, Yamashita K, Kamiyama T, Taketomi A

安全・安心な臓器移植のためにできること：臓器提供推進と免疫寛容の誘導（シンポジウム）

嶋村剛

大腸癌手術における双孔式ストマの治療成績

吉田雅、本間重紀、大野陽介、市川伸樹、川村秀樹、武富紹信

腹腔動脈起始部狭窄・閉塞を伴う胆膵悪性腫瘍に対する膵頭十二指腸切除の経験

渋谷一陽、蒲池浩文、折茂達也、永生高広、島田慎吾、若山 顕治、横尾 英樹、神山 俊哉、武富 紹信

残胃癌に対する腹腔鏡下残胃全摘術の短期成績による検討

柴田賢吾、川村秀樹、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、高橋昌宏、武富紹信

肝内胆管癌に対する臨床病理学的検討と治療戦略

折茂達也、神山俊哉、蒲池浩文、横尾英樹、若山顕治、永生高広、島田慎吾、武富紹信

初発大腸癌切除症例における重複癌の検討

大野陽介、本間重紀、市川伸樹、吉田雅、川村秀樹、武富紹信

腹腔鏡下胃切除における超音波凝固切開装置の使用法のコツ 特にリンパ節郭清について

川村秀樹、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、武富紹信

尾状葉原発肝細胞癌の検討

島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、永生高広、蒲池浩文、武富紹信

ミラノ基準以内の肝細胞癌に対する術前リンパ球単球比(LMR)の予後予測因子としての検討

杉山昂、横尾英樹、島田慎吾、永生高広、若山顕治、折茂達也、蒲池浩文、神山俊哉、武富紹信

肝細胞癌切除後再発におけるソラフェニブ治療の有効性

横尾英樹、神山俊哉、折茂達也、若山顕治、永生 高広、島田慎吾、蒲池 浩文、武富 紹信

腹腔鏡下低位前方切除術におけるReduced Port Surgery

本間重紀、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、川村秀樹、武富紹信

高度進行肝細胞癌に対する治療戦略 高度門脈腫瘍栓(vp3、4)および下大静脈腫瘍栓(vv3)を伴う肝細胞癌に対する治療戦略

若山顕治、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、永生高広、島田慎吾、蒲池浩文、武富紹信

2017.7.8 第5回埼玉県南西部地区外科・消化器疾患懇話会（川越）

肝切除の最近の工夫（特別講演）

武富紹信

2017.8.5 第23回北海道内視鏡外科研究会（札幌）

腹腔鏡下幽門側胃切除における体腔内吻合によるビルロートⅠ法再建の短期成績

市川伸樹、川村秀樹、大野陽介、吉田雅、本間重紀、武富紹信

2017.8.12 第11回消化器がん学術講演会（徳島）

肝癌治療の最前線

武富紹信

2017.8.25-26 第44回日本膵切研究会（横浜）

腹腔動脈起始部狭窄・閉塞を伴う胆膵悪性腫瘍に対する膵頭十二指腸切除の経験

折茂達也、蒲池浩文、長津明久、島田慎吾、若山顕治、横尾英樹、神山俊哉、武富紹信

2017.9.6-7 第115回日本消化器病学会北海道支部例会（札幌）

潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘術後のafferent limb syndromeに対して腸管固定術を施行した1例

大野陽介、本間重紀、市川伸樹、吉田雅、川村秀樹、武富紹信

2017.9.7 第53回日本移植学会総会（旭川）

先天性胆道拡張症に発生した多発胆道癌に対し、生体肝移植と膵頭十二指腸切除を同時に実施した1例

腰塚靖之、川村典生、渡辺正明、後藤了一、太田稔、川久保和道、桑谷将城、三橋智子、山下健一郎、武富紹信、蒲池浩文、神山俊哉、嶋村剛

肝移植における術前抗ドナー抗体陽性の臨床的意義

後藤了一、山下健一郎、川村典生、腰塚靖之、渡辺正明、太田稔、神山俊哉、鈴木友己、武富紹信、嶋村剛

チーム医療としての臓器移植のあり方」臨床工学技士から見た臓器移植への関与

太田稔、岡本花織、千葉裕基、松本剛直、加藤伸彦、寒河江磨、矢萩亮児、法邑まなみ、鶴田智久、石川勝清、堀田記世彦、岩見大基、大岡智学、嶋村剛

臓器移植法から20年：いま社会システムとしての臓器提供の推進を考える

嶋村剛

2017.9.12 Surgical oncology meeting-HCC treatment-（札幌）

EVIDENCEに基づくHCC集学的治療（特別講演）

武富紹信

2017.9.14-15 第9回日本Acute Care Surgery学会学術集会（札幌）

緊急手術を要したブレドニン長期服用患者における結腸憩室炎穿孔の3症例

大野陽介、本間重紀、市川伸樹、吉田雅、川村秀樹、武富紹信

2017.9.15 第24回日本門脈圧亢進症学会総会（東京）

肝移植へのブリッジとしての門脈圧亢進症治療

嶋村剛

2017.9.16-17 HOPES 2017 (札幌)

潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡手術

本間重紀、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、川村 秀樹、武富紹信

術前末梢血中単球数の大腸癌根治切除後における再発予測バイオマーカーとしての有用性

大野陽介、本間重紀、市川伸樹、吉田雅、川村秀樹、武富紹信

腹腔鏡下幽門側胃切除における体腔内吻合によるビルロートⅠ法再建の短期成績

市川伸樹、川村秀樹、大野陽介、吉田雅、本間重紀、武富紹信

当科における肝切除の腸管前処置の変遷と成績

長津明久、神山俊哉、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、蒲池浩文、武富紹信

右心房内腫瘍栓を伴う高度進行肝細胞癌に対する肝切除術

若山顕治、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、島田慎吾、長津明久、蒲池浩文、松居喜郎、武富紹信

仙尾部奇形腫と尿生殖洞遺残による水腫症を合併した女兒の一例
羽田光輝、本多昌平、宮城久之、荒桃子、湊雅嗣、武田賢大、坂本沙織、鈴木麻由、中村美智子、守屋仁彦、武富紹信

腹腔鏡補助下摘出術を施行した機能性副腎腺腫の一例

坂本沙織、本多昌平、宮城久之、湊雅嗣、鈴木麻由、中村明枝、森川俊太郎、山口健史、武富紹信

右房内腫瘍塞栓にて心不全徴候を呈し緊急手術となった腎芽腫の1女児例<HOPES学生セッション>

高橋亮也(5年生)、本多昌平、宮城久之、若山顕治、横尾英樹、橘剛、神山俊哉、武富 紹信

2017.9.20 肝疾患病診ネットワーク講演会(福岡)

肝臓外科領域におけるC型肝炎治療(特別講演)

武富紹信

2017.9.22 第6回とかちラパロ教室(帯広)

技術認定医取得に向けた取り組み

本間重紀

2017.9.23 Liver-related Diseases Forum ~肝疾患のトータルマネジメント~(札幌)

肝疾患治療の最後の砦:北海道における肝移植の現状
嶋村剛

2017.9.28-30 第76回日本癌学会学術総会(横浜)

IL-6 suppresses dendritic cell-mediated antitumor immunity and promotes liver metastasis of colorectal cancer cells

豊島雄二郎、項慧慧、寺田聖、岡田尚樹、木井修平、大野陽介、本間重紀、川村秀樹、高橋典彦、武富紹信、北村秀光

Identification of aberrant hypermethylation of Cisplatin-resistant associated genes in hepatoblastoma.

藤好直、本多昌平、湊雅嗣、鈴木拓、檜山英三、武富紹信

2017.9.30 第23回肝移植適応研究会(札幌)

HIV/HCV重複感染に対し脳死肝移植を実施(組織接着用シートを併使)した治療経験

後藤了一、川村典生、腰塚靖之、渡辺正明、瀬田恒一、遠藤知之、

藤本勝也、近藤健、鈴木友己、山下健一郎、嶋村剛

2017.10.1 第1回市民公開講座(札幌)

“働くこと”と“移植医療”北海道移植医療推進財団発足記念
嶋村剛

2017.10.2 第29回愛宕消化器外科研究会(東京)

内視鏡外科技術認定医育成のノウハウについて~北海道大学消化器外科Ⅰの取り組み~(特別講演)

武富紹信

2017.10.7 第38回日本大腸肛門病学会北海道地方会(札幌)

StageⅡ大腸癌における再発予測因子としての術前単球数の有用性

大野陽介、本間重紀、市川伸樹、吉田雅、川村秀樹、武富紹信

2017.10.8 第8回奈良大腸癌治療セミナー(奈良)

大腸癌肝転移に対する外科治療戦略(特別講演)

武富紹信

2017.10.12-14 JDDW2017(第21回日本肝臓学会大会および第15回日本消化器外科学会大会)(福岡)

非B非C肝癌の実態と対策(特別発言)

武富紹信

腹腔鏡下大腸切除術における腹部手術既往の影響

吉田雅、本間重紀、大野陽介、市川伸樹、川村秀樹、武富紹信

胃癌術前診断における経腹超音波検査の有用性

市川伸樹、川村秀樹、吉田雅、大野陽介、本間重紀、武富紹信

肝内胆管癌の局在による臨床病理学的検討

折茂達也、神山俊哉、蒲池浩文、横尾英樹、若山顕治、永生高広、島田慎吾、武富紹信

高度門脈腫瘍栓および下大静脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対する外科的治療

若山顕治、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、島田慎吾、永生高広、蒲池浩文、武富紹信

2017.10.20-22 日本癌治療学会学術集会(横浜)

pStageⅢ結腸癌に対するFOLFOXの第Ⅱ相試験[NORTH/HGCSG1003]原発部位による解析

篠原敏樹、結城敏志、川本泰之、中積宏之、高橋典彦、七戸俊明、久須美貴哉、中村文隆、小林良充、岩永一郎、伊藤陽一、坂本直哉、武富紹信、平野聡、小松嘉人

2017.10.22 第44回日本胆道閉鎖症研究会(博多)

肝門部空腸吻合術後早期に門脈狭窄と限局性肝内胆管拡張を来し肝移植へ至った1例

荒桃子、本多昌平、宮城久之、湊雅嗣、武富紹信

2017.10.25 第2回最新の癌治療・研究を学ぶ一秋の勉強会3部作一(唐津)

進行肝癌に対する外科治療の発展と課題ー肝臓移植と肝切除ー(特別講演)

武富紹信

2017.11.1 第26回札幌肝不全懇話会(札幌)

肝移植とPSE

腰塚靖之、川村典生、渡辺正明、後藤了一、山下健一郎、武富紹信、嶋村剛

2017.11.3-4 第47回胃外科・術後障害研究会（横浜）

腹腔鏡下幽門側胃切除における体腔内吻合によるビルロートⅠ法再建の短期成績

市川伸樹、川村秀樹、大野陽介、吉田雅、本間重紀、武富紹信

縫合不全危険因子としての血清アルブミン値の有用（パネルディスカッション）

大野陽介、川村秀樹、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、武富紹信

2017.11.4 第1回北海道膵臓・胆道研究会（札幌）

当科における局所進行膵癌に対する術前化学放射線療法
折茂達也、蒲池浩文、長津明久、島田慎吾、若山顕治、横尾英樹、
神山俊哉、武富紹信

2017.11.9 どうする？この肝不全in釧路2017（釧路）

肝疾患治療の最後の砦：北海道における肝移植の現状
嶋村剛

2017.11.9-11 第59回日本小児血液・がん学会学術集会（松山）

男性化徴候を契機に診断された機能性副腎腺腫の一例
坂本沙織、本多昌平、宮城久之、湊雅嗣、鈴木麻由、中村明枝、
森川俊太郎、武富紹信

2017.11.10-11 第72回大腸肛門病学会学術集会（福岡）

大腸癌手術における双孔式ストマの治療成績
吉田雅、本間重紀、大野陽介、市川伸樹、川村秀樹、武富紹信

PSM解析による 切除不能転移性大腸癌における原発巣切除の意義の検討

市川伸樹、本間重紀、吉田雅、大野陽介、川村秀樹、川本泰之、
中積宏之、結城敏志、小松嘉人、石川倫啓、江本慎、小笠原和宏、
曾我部進、中西一彰、数井啓蔵、古家乾、上泉洋、加藤寛士、坂
本直哉、武富紹信

術前単球数の大腸癌ハイリスクStageⅡバイオマーカーとしての可能性

大野陽介、本間重紀、市川伸樹、吉田雅、川村秀樹、武富紹信

IL-6は担がん環境下において樹状細胞の機能抑制を介し、大腸がん肝転移を増悪させる

豊島雄二郎、北村秀光、大野陽介、項慧慧、寺田聖、市川伸樹、
吉田雅、本間重紀、川村秀樹、高橋典彦、武富紹信

炎症性腸疾患におけるSTAT1の関与

木井修平、北村秀光、豊島雄二郎、岡田尚樹、項慧慧、寺田聖、
大野陽介、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、川村秀樹、高橋典彦、
武富紹信

2017.11.10-11 第44回日本臓器保存生物医学会学術集会（大阪）

Ex vivo灌流によるAMPK活性化を介した脂肪肝グラフトに対するコンディショニング法の開発

島田慎吾、柴田賢吾、中数拓哉、梅本浩平、小林希、藤好直、三
好早香、早坂孝宏、石川隆壽、深井原、嶋村剛、武富紹信

臓器灌流時のコンディショニング法の探索

深井原、島田慎吾、梅本浩平、中数拓哉、柴田賢吾、早坂孝宏、
鈴木崇史、大谷晋太郎、橋本咲月、三野和宏、嶋村剛、武富紹信

小腸上皮細胞の低温保存における溶存酸素と酸化ストレスの影響
中数拓哉、深井原、島田慎吾、小林希、梅本浩平、柴田賢吾、早

坂孝宏、鈴木崇史、大谷晋太郎、橋本咲月、三野和宏、嶋村剛、
武富紹信

2017.11.17-18第28回日本消化器癌発生学会総会・第9回国際消化器癌発生会議（熊本）

IL-6 suppresses dendritic cell-mediated antitumor immunity and promotes liver metastasis of colorectal cancer cells

Toyoshima Y, Kitamura H, Ohno Y, Xiang H, Terada S, Okada N, Kii S, Ichikawa N, Yoshida T, Homma S, Kawamura H, Takahashi N, Taketomi A

Investigation of aberrant hypermethylation of DNA in association with cisplatin-resistance in hepatoblastoma.
Fujiiyoshi S, Honda S, Minato M, Miyagi H, Suzuki T, Hiyama E, Taketomi A

2017.11.21 第47回リバーサイド消化器懇話会（札幌）

肝疾患治療の選択肢としての肝移植：その現状と今後
嶋村剛

2017.11.23-25 第79回日本臨床外科学会総会（東京）

孤立性右心室転移を来した肝細胞癌の一例
齋藤智哉、神山俊哉、長津明久、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、
横尾英樹、蒲池浩文、大岡智学、松居喜郎、武富紹信

腹腔鏡下Miles'手術におけるSSI予防への工夫

吉田雅、本間重紀、大野陽介、市川伸樹、川村秀樹、武富紹信

切除不能転移性大腸癌において原発巣切除によるリンパ球単球比増加は予後を延長する

市川伸樹、本間重紀、吉田雅、大野陽介、川村秀樹、石川倫啓、
江本慎、小笠原和宏、中西一彰、数井啓蔵、上泉洋、武富紹信

直腸癌術後における骨盤内再発切除症例の検討

大野陽介、本間重紀、市川伸樹、吉田雅、川村秀樹、武富紹信

単発肝細胞癌における系統的肝切除術を選択すべき術前リスク因子の検討

島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、折茂達也、長津明久、
蒲池浩文、武富紹信

肝不全ゼロを目指した肝切除

折茂達也、神山俊哉、横尾英樹、若山顕治、島田慎吾、長津明久、
蒲池浩文、武富紹信

当科における術前処置の変遷とその比較

長津明久、神山俊哉、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、
蒲池浩文、武富紹信

大腸癌肝転移切除後再発に対する外科治療の位置づけ

横尾英樹、神山俊哉、折茂達也、若山顕治、島田慎吾、長津明久、
蒲池浩文、武富紹信

肝エキノコックス症に対する減量肝切除の有用性の検討

神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、島田慎吾、長津明久、
蒲池浩文、嶋村剛、武富紹信

2017.11.30 どうする？この肝不全in室蘭2017（室蘭）

肝疾患治療の最後の砦：北海道における肝移植の現状
嶋村剛

2017.12.2 第112回日本臨床外科学会北海道支部例会 (札幌)
大腸癌根治切除後における再発予測バイオマーカーとしての術前末梢血単球数の有用性
大野陽介、本間重紀、市川伸樹、吉田雅、川村秀樹、武富紹信

2017.12.3 第300回日本小児科学会北海道地方会例会 (札幌)
先天性門脈体循環シャントに対する治療戦略
本多昌平、宮城久之、荒 桃子、武富紹信、武田充人、山澤弘州、泉岳、阿部二郎、佐々木 理、佐々木大輔、小杉山清隆

2017.12.6 第11回肝臓内視鏡外科研究会 (京都)
腹腔鏡下肝切除と胃切除の同時施行 4 例の検討
長津明久、神山俊哉、川村秀樹、本間重紀、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、蒲池浩文、武富紹信

2017.12.7-12.9 第30回日本内視鏡外科学会 (京都)
技術認定医と後期研修医における結紮動作の力学的差異
川村秀樹、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、武富紹信、石井千春

腹腔鏡下大腸切除術における喫煙既往の影響
吉田雅、本間重紀、大野陽介、市川伸樹、川村秀樹、武富紹信

腹腔鏡下幽門側胃切除における体腔内吻合によるビルロート I 法再建の短期成績
市川伸樹、川村秀樹、大野陽介、吉田雅、本間重紀、武富紹信

局所進行大腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除術の成績
大野陽介、本間重紀、市川伸樹、吉田雅、川村秀樹、武富紹信

当科における腹腔鏡下肝切除と胃切除の同時施行例の検討
長津明久、神山俊哉、川村秀樹、本間重紀、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、島田慎吾、若山顕治、折茂達也、横尾英樹、蒲池浩文、武富紹信

《学会発表 (国際)》

2017.3.22-25 SAGES 2017 Annual Meeting, Houston, TX, USA
Safety and efficacy of preoperative elemental diet for patients with circumferential colorectal cancer
Yoshida T, Homma S, Ohno Y, Ichikawa N, Shibasaki S, Takahashi N, Kawamura H, and Taketomi A

Is it safe that laparoscopic colectomy performed by beginner surgeons with an assist by a technical qualified surgeon?
Ichikawa N, Homma S, Yoshida T, Ohno Y, Kawamura H, Kamiizumi Y, Taketomi A

2017.4.29-5.3 American Transplant Congress, Chicago, USA
Cibinetide (ARA 290), the innate repair receptor ligand, improves engraftment in pancreatic islet transplantation by protecting islets and suppressing inflammatory reactions.
Watanabe M, Ming Han Yao, Helen Zemack, Bo-Göran Ericzon, Anthony Cerami, Michael Brines, Torbjörn Lundgren, and Makiko Kumagai-Braesch

2017.5.11 The 7th International Sendai Symposium on

Biliary Atresia (7th ISSBA) , Sendai, Japan
The predictors of early liver transplantation in patients with biliary atresia after Kasai portoenterostomy.
Shibata K, Minato M, Honda S, Miyagi H, Kondo T, Okumura K, Kawakita I, Yamashita K, Shimamura T, Taketomi A.

2017.5.29 The 50th Pacific Association of Pediatric Surgeons (PAPS) , Seattle, USA
Persistent gastrostomy site infection in patients with laparoscopic and open Nissen fundoplication.
Miyagi H, Honda S, Minato M, Okada T, Taketomi A.

2017.6.7 IASGO Advanced Postgraduate Course, Yokohama, Japan
Salvage hepatectomy for recurrent hepatocellular carcinoma after radiofrequency ablation and/or transcatheter arterial chemoembolization
Orimo T, Kamiyama T, Yokoo H, Wakayama K, Shimada S, Einama T, Kamachi H, Taketomi A

Hepatectomy and prognoses for hepatocellular carcinoma originated from caudate lobe
Shimada S, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Wakayama K, Einama T, Nagatsu A, Kamachi H, Taketomi A

2017.6.10-14 American Society of Colon and Rectal Surgeons Annual Scientific Meeting. June 10-14, 2017, Seattle, WA, USA
Impact of primary tumor resection in colorectal cancer with unresectable metastasis.
Ichikawa N, Homma S, Yoshida T, Ohno Y, Kawamura H, Taketomi A

Pre-operative peripheral monocyte count is a predictor of recurrence after radical resection in patients with Stagell/III colorectal cancer.
Ohno Y, Homma S, Ichikawa N, Yoshida T, Kawamura H, Taketomi A

2017.08.25-26 9th Japanese-Mongolian International Joint Symposium on Surgical Treatment of Digestive Tract Cancers. Invited Lecture (Ulaanbaatar Mongolia)
IL-6 suppresses dendritic cell-mediated antitumor immunity and promotes liver metastasis of colorectal cancer cells
Toyoshima Y, Kitamura H, Ohno Y, Xiang H, Terada S, Okada N, Kii S, Ichikawa N, Yoshida T, Homma S, Kawamura H, Takahashi N, Taketomi A

2017.11.23 The 21st Asian Congress of Surgery. Luncheon Seminar 2, Tokyo, Japan
Treatment strategy of chemotherapy and surgical treatment for HCC.
Taketomi A.

2017年論文一覧

《論文発表》 (欧文)

Yoshida T, Homma S, Shibasaki S, Shimokuni T, Sakihama H, Takahashi N, Kawamura H, Taketomi A. Postoperative analgesia using fentanyl plus celecoxib versus epidural anesthesia after laparoscopic colon resection. *Surg Today*. 2017 Feb;47(2):174-181.

Yoshida T, Homma S, Shibasaki S, Shimokuni T, Sakihama H, Takahashi N, Kawamura H, Taketomi A. Postoperative analgesia using fentanyl plus celecoxib versus epidural anesthesia after laparoscopic colon resection. *Surg Today*. 2017 Feb;47(2):174-181.

Wakayama K, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Shimada S, Einama T, Kamachi H, Taketomi A. Huge hepatocellular carcinoma greater than 10 cm in diameter worsens prognosis by causing distant recurrence after curative resection. *J Surg Oncol*. 2017 Mar;115(3):324-329.

Shimada S, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Wakayama K, Einama T, Kakisaka T, Kamachi H, Taketomi A. Clinicopathological Characteristics of Hepatocellular Carcinoma with Microscopic Portal Venous Invasion and the Role of Anatomical Liver Resection in These Cases. *World J Surg*. 2017 Aug;41(8):2087-2094.

Einama T, Abe H, Shichi S, Matsui H, Kanazawa R, Shibuya K, Suzuki T, Matsuzawa F, Hashimoto T, Kohei N, Homma S, Kawamura H, Taketomi A. Long-term survival and prognosis associated with conversion surgery in patients with metastatic gastric cancer. *Mol Clin Oncol*. 2017 Feb;6(2):163-166.

Ohata T, Yokoo H, Kamiyama T, Fukai M, Aiyama T, Hatanaka Y, Hatanaka K, Wakayama K, Orimo T, Kakisaka T, Kobayashi N, Matsuno Y, Taketomi A. Fatty acid-binding protein 5 function in hepatocellular carcinoma through induction of epithelial-mesenchymal transition. *Cancer Med*. 2017 May;6(5):1049-1061.

Kawamura H, Ohno Y, Ichikawa N, Yoshida T, Homma S, Takahashi M, Taketomi A. Anastomotic complications after laparoscopic total gastrectomy with esophagojejunostomy constructed by circular stapler (OrVil™) versus linear stapler (overlap method). *Surg Endosc*. 2017 May 9. 31(12): 5175-5182.

Shoji H, Yoshio S, Mano Y, Doi H, Sugiyama M, Osawa Y, Kimura K, Arai T, Itokawa N, Atsukawa M, Aoki Y, Fukai M, Taketomi A, Mizokami M, Kanto T. Pro-angiogenic TIE-2-expressing monocytes/TEMs as a biomarker of the effect of sorafenib in patients with advanced hepatocellular carcinoma. *Int J Cancer*. 2017 Sep 1;141(5):1011-1017.

Ohno Y, Toyoshima Y, Yurino H, Monma N, Xiang H, Sumida K, Kaneumi S, Terada S, Hashimoto S, Ikeo K, Homma S, Kawamura H, Takahashi N, Taketomi

A, Kitamura H. Lack of interleukin-6 in the tumor microenvironment augments type-1 immunity and increases the efficacy of cancer immunotherapy. *Cancer Sci*. 2017 Oct;108(10):1959-1966.

Homma S, Kawamata F, Yoshida T, Ohno Y, Ichikawa N, Shibasaki S, Kawamura H, Takahashi N, Taketomi A. The Balance Between Surgical Resident Education and Patient Safety in Laparoscopic Colorectal Surgery: Surgical Resident's Performance has No Negative Impact. *Surg Laparosc Endosc Percutan Tech*. 2017 Aug;27(4):295-300.

Ohba G, Yamamoto H, Nakayama M, Honda S, Taketomi A. Single-stage operation for perforated choledochal cyst. *J Pediatr Surg*. 2017 Jul 21. pii: S0022-3468(17)30429-3.

Kamiyama T, Orimo T, Wakayama K, Shimada S, Nagatsu A, Yokoo H, Kamachi H, Yamashita K, Shimamura T, Taketomi A. Survival outcomes of hepatectomy for stage B Hepatocellular carcinoma in the BCLC classification. *World J Surg Oncol*. 2017 Aug 22;15(1):156.

Orimo T, Kamiyama T, Yokoo H, Wakayama K, Shimada S, Einama T, Kamachi H, Taketomi A. Salvage Hepatectomy for recurrent hepatocellular carcinoma after radiofrequency ablation and/or transcatheter arterial chemoembolization: a propensity score-matched analysis. *Dig Surg*. 2017 Sep 14. doi: 10.1159/000480521.

Matsuzawa F, Homma S, Yoshida T, Konishi Y, Shibasaki S, Ishikawa T, Kawamura H, Takahashi N, Iijima H, Taketomi A. Serosal Laceration During Firing of Powered Linear Stapler Is a Predictor of Staple Malformation. *Surg Innov*. 2017 Dec;24(6):590-597.

Einama T, Kawamata F, Kamachi H, Nishihara H, Homma S, Matsuzawa F, Mizukami T, Konishi Y, Kamiyama T, Yamamoto J, Taketomi A, Todo S. Mesothelin-Specific Immune Responses and Targeted Immunotherapy for Mesothelin-Expressing Tumors. *EBioMedicine*. 2017 Oct;24:16-17.

Ichikawa N, Homma S, Yoshida T, Ohno Y, Kawamura H, Wakizaka K, Nakanishi K, Kazui K, Iijima H, Shomura H, Funakoshi T, Nakano S, Taketomi A. Mentor Tutoring: An Efficient Method for Teaching Laparoscopic Colorectal Surgical Skills in a General Hospital. *Surg Laparosc Endosc Percutan Tech*. 2017 Dec;27(6):479-484.

Kamachi H, Kamiyama T, Tsuruga Y, Orimo T, Wakayama K, Shimada S, Kakisaka T, Yokoo H, Yamashita K, Taketomi A. Transparenchymal glissonean approach: a novel surgical technique for advanced perihilar bile duct cancer. *Langenbecks Arch Surg*. 2017 Oct 23. doi: 10.1007/s00423-017-1633-2.

Kawamata F, Patch AM, Nones K, Bond C, McKeone D, Pearson SA, Homma S, Liu C, Fennell L, Dumenil

T, Hartel G, Kobayasi N, Yokoo H, Fukai M, Nishihara H, Kamiyama T, Burge ME, Karapetis CS, Taketomi A, Leggett B, Waddell N, Whitehall V. Copy number profiles of paired primary and metastatic colorectal cancers. *Oncotarget*. 2017 Dec 15;9(3):3394-3405.

Honda S, Minato M, Miyagi H, Okada H, Taketomi A. Anal canal duplication presenting with abscess formation. *Pediatr Int*. 2017 Apr;59(4):500-501.

Chida K, Nakanishi K, Shomura H, Homma S, Hattori A, Kazui K, Taketomi A. Spontaneous regression of transverse colon cancer: a case report. *Surg Case Rep*. 2017 Dec;3(1):65.

Ishiguro Y, Homma S, Yoshida T, Ohno Y, Ichikawa N, Kawamura H, Hata H, Kase S, Ishida S, Okada-Kanno H, Hatanaka KC, Taketomi A. Usefulness of PET/CT for early detection of internal malignancies in patients with Muir-Torre syndrome: report of two cases. *Surg Case Rep*. 2017 Dec;3(1):71.

Shibuya K, Kawamura H, Tahara M, Takahashi M, Taketomi A. Laparoscopic Cholecystectomy in a Child Using Slender Forceps. *APSP J Case Rep*. 2017 May 1;8(3):18.

Nagatsu A, Yoshizumi T, Ikegami T, Harimoto N, Harada N, Soejima Y, Taketomi A, Maehara Y. In Situ Posterior Graft Segmentectomy for Large-for-Size Syndrome in Deceased Donor Liver Transplantation in Adults: A Case Report. *Transplant Proc*. 2017 Jun;49(5):1199-1201.

Shibata K, Kawamura H, Ichikawa N, Shibuya K, Yoshida T, Ohno Y, Homma S, Taketomi A. Laparoscopic total gastrectomy for advanced gastric cancer in a patient with situs inversus totalis. *Asian J Endosc Surg*. 2017 Jul 5. doi: 10.1111/ases.12404.

Sakamoto S, Goto R, Kawamura N, Koshizuka Y, Watanabe M, Ota M, Suzuki T, Abo D, Yamashita K, Kamiyama T, Taketomi A, Shimamura T. Petersen's hernia after living donor liver transplantation. *Surg Case Rep*. 2017 Aug 23;3(1):89.

Ishikawa T, Nishikawa M, Nakamoto H, Yokoyama R, Taketomi A. Laparoscopic anterior resection for rectal cancer in a patient with a ventriculoperitoneal shunt. *Asian J Endosc Surg*. 2017 Dec 19. doi: 10.1111/ases.12444.

Kawamura N, Kamiyama T, Yokoo H, Kakisaka T, Orimo T, Wakayama K, Tsuruga Y, Kamachi H, Hatanaka K, Taketomi A. Hepatectomy for liver metastasis from gastrointestinal stromal tumor in the era of imatinib mesylate: a case series study. *Int Canc Conf J*. 6, 121-125, 2017

Miyagi H, Honda S, Minato M, Okada T, Taketomi A. Factors Associated with the Risk of Persistent Gastrostomy Site Infection Following Laparoscopic or

Open Nissen Fundoplication. *Afr J Paediatr Surg*. 2017 Apr-Jun;14(2):21-23.

(和文)

若山顕治、神山俊哉、武富紹信. 【進行肝細胞癌に対する治療戦略 (集学的治療を含めて)】 外科的治療 巨大肝細胞癌に対する外科治療 (解説/特集) 外科 (0016-593X) 79巻2号 Page141-144 (2017.02)

深井原、島田慎吾、梅本浩平、中藪拓哉、小林希、三野和宏、嶋村剛、武富紹信.臓器灌流法の先にあるべき技術とは? (解説) *Organ Biology* (1340-5152) 24巻2号 Page49-54 (2017.07)

武富紹信. 【激変する肝疾患診療の現状】 肝腫瘍に対する最近の外科的治療. 臨牀と研究 (0021-4965) 94巻5号 Page592-597(2017.05)

武富紹信、若山顕治. 標準術式アトラス 肝臓一後区域切除. 臨牀外科 72巻11号 Page196-201 (2017.10)

高橋周作、松本哲、乾野幸子、野口慶太、石津寛之、高橋昌宏、川村秀樹、武富紹信. 【食道胃接合部癌の治療戦略】 食道胃接合部腺癌切除例における至適治療法の検討 (原著論文/特集) 癌の臨牀 (0021-4949)62巻6号 Page279-287(2017.01)

佐野修平、本間重紀、吉田雅、下國達志、崎浜秀康、川村秀樹、岡田宏美、武富紹信. 腹腔鏡と会陰アプローチを行い完全切除可能であった前仙骨部epidermoid cystの1例. 日本外科系連合学会誌 (0385-7883) 42巻1号 Page134-138 (2017.02).

大平将史、後藤了一、腰塚靖之、神山俊哉、山下健一郎、武富紹信、鈴木友己、嶋村剛. 常染色体劣性多発性嚢胞腎に伴う肝線維症に対し脳死肝移植を施行した1例. 移植 (0578-7947) 52巻1号 Page60-66 (2017.04).

矢部沙織、本間重紀、吉田雅、下國達志、崎浜秀康、川村秀樹、三橋智子、岡田宏美、武富紹信. 家族性大腸腺腫症術後30年で発生した結腸人工肛門部癌の1例. 日本消化器外科学会雑誌 (0386-9768) 50巻4号 Page317-325 (2017.04).

杉山昂、本間重紀、吉田雅、市川伸樹、川村秀樹、武富紹信. 腸胃動脈が原因となった広汎子宮全摘術後のイレウスの3例. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843)78巻5号 Page1144-1149(2017.05).

村田竜平、神山俊哉、菅野宏美、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、島田慎吾、敦賀陽介、蒲池浩文、武富 紹信.自然退縮を来した肝静脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌の1例. 日本消化器外科学会雑誌 (0386-9768) 50巻7号 Page535-543 (2017.07).

柴田賢吾、川村秀樹、吉田雅、大野陽介、本間重紀、武富紹信.腹腔鏡手術を行ったHIV感染症併存小腸癌の1例. 日本臨床外科学会雑誌(1345-2843) 78巻7号 Page1547-1552 (2017.07).

柴田賢吾、横田良一、巖築慶一、廣方玄太郎、田口宏一、岩木宏之、武富紹信
多発肺転移が術前化学療法で消失し根治術後6年生存している直腸癌の1例. 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 78巻11号 Page2497-2502 (2017.11)

中本裕紀、川村秀樹、吉田雅、市川伸樹、大野陽介、本間重紀、

若山顕治、横尾英樹、神山俊哉、三橋智子、武富紹信
腹腔鏡下幽門側胃切除,肝外側区切除術後に残胃潰瘍穿孔とY
脚吻合部出血を発症した1例. 日本外科系連合学会誌 (0385-
7883) 42巻6号 Page937-945 (2017.12)

研究費一覧

種別	事業名	研究代表者	研究分担者	交付額 (分担金配分額)	研究課題名
科研費	基盤研究 (B)	武富 紹信		4,300,000	炎症性腸疾患における神経ペプチドシグナルの制御機構解明と疾患治療への応用
	基盤研究 (S)	(前原 喜彦)	武富 紹信	500,000	がん幹細胞化に関与するSphere形成メカニズムを標的とした革新的治療開発
	基盤研究 (C)	神山 俊哉		1,200,000	肝癌細胞株における糖鎖異常と浸潤能との関連性の解析
	基盤研究 (S)	(西村紳一郎)	神山 俊哉	1,500,000	網羅的糖鎖解析による新規癌マーカーの探索と診断技術の開発
	基盤研究 (B)	嶋村 剛		3,000,000	脂肪肝グラフトのミトコンドリア機能と抗酸化能を増強する画期的な肝体外灌流法の開発
	基盤研究 (C)	高橋 典彦		1,100,000	IL-6による免疫抑制を介した大腸がん肝転移機構の解明と新規治療法開発
	基盤研究 (C)	本多 昌平		100,000	肝芽腫の発生・進展過程におけるDNAメチル化異常の解明
	基盤研究 (A)	(檜山 英三)	本多 昌平	250,000	小児がん研究グループによる小児肝がんの海外診療状況調査と国際共同臨床研究基盤整備
	基盤研究 (C)	後藤 了一		1,000,000	ヒト血管移植片に対する抗ドナー抗体の病的意義と免疫抑制性細胞による治療効果の検討
	基盤研究 (C)	折茂 達也		1,400,000	APC結合タンパクEB1による膵癌の放射線抵抗性の画期的診断とその分子機構の解明
	基盤研究 (C)	深井 原		1,500,000	14-3-3とNrf2の制御による革新的な心停止腎グラフトの灌流修復法の開発
	基盤研究 (C)	渡辺 正明		1,600,000	膵島移植における長期グラフト生着のための治療法の開発
	挑戦的萌芽研究	砂原 正男		1,300,000	肝芽腫局所進展に関わるドライバージェノム変異の解明
	若手研究 (B)	柴崎 晋		900,000	EMTに注目した胃癌における循環・骨髄腫瘍細胞の臨床的意義の検討
	若手研究 (B)	財津 雅昭		1,500,000	慢性拒絶反応における血管平滑筋細胞に対する制御性T細胞の効果の検討
	若手研究 (B)	島田 慎吾		1,200,000	脂肪切除後の分子病態解明と抗酸化能増強による易障害性・易転移性克服法の開発
	若手研究 (B)	大野 陽介		1,300,000	大腸がん微小環境下における抗原提示細胞の機能制御を基軸とした新規治療法の開発
AMED・厚労科研	日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 ii	(溝上 雅史)	武富 紹信	(10,000,000)	個別化医療に対応したゲノム編集技術による肝臓内HBVゲノムの完全不活化を目指した革新的治療法の包括的開発
	日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 i	(考藤 達哉)	武富 紹信	(2,600,000)	非炎症性肝がんに関与する微小環境の解明に基づく病態関連マーカーと治療法の開発
	日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 i	(坂本 直哉)	武富 紹信	(2,000,000)	慢性肝疾患の組織病態進展機構の解析および血清組織糖鎖の網羅的探索による予後予測マーカーの構築
	日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 i	(松浦 善治)	武富 紹信	(1,750,000)	C型肝炎における慢性肝炎から発がんに至るまでの病態解明とその制御に関する研究
	日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 i	(前原 喜彦)	武富 紹信	(300,001)	多施設共同研究による移植後肝炎ウイルス再発に対する標準的治療の確立
	厚生労働行政推進調査事業費補助金 エイズ対策政策研究事業	(江口 晋)	嶋村 剛	(500,000)	血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究
その他	上原記念生命科学財団	武富 紹信		5,000,000	網羅的epigenetic解析による小児肝芽腫治療抵抗性の解明
	公益信託 榆刀会外科医学研究助成基金	吉田 雅		900,000	胃癌において上皮間葉転換した循環腫瘍細胞の意義とその精密な検出法の開発
	公益財団法人伊藤医薬学術交流財団	深作 慶友		200,000	生体肝移植後患者におけるヒト化マウスモデルを用いた移植後免疫モニタリング法の確立
	公益信託 外科学研究助成基金	島田 慎吾		500,000	脂肪肝切除後における障害軽減法および腫瘍細胞生着に対する制御法の開発

2017年業績紹介

〈学位取得者〉

■ 学位取得者（博士）

大畑 多嘉宣

■ 学位取得年月

2017年9月



■ 学位論文名

肝細胞癌におけるFatty acid binding protein 5(FABP5)発現による上皮間葉転換に関する研究 (Studies on epithelial-mesenchymal transition induced by expression of Fatty acid binding protein 5(FABP5)for hepatocellular carcinoma)

■ 基礎論文

Ohata T, Yokoo H, Kamiyama T, Fukai M, Aiyama T, Hatanaka Y, Hatanaka K, Wakayama K, Orimo T, Kakisaka T, Kobayashi N, Matsuno Y, Taketomi A. Fatty acid binding protein 5 function in hepatocellular carcinoma through induction of epithelial-mesenchymal transition. Cancer Med. 2017; 6(5): 1049-1061

■ 要 旨

【背景】

肝がんは予後不良な悪性疾患であり予後向上のためには切除後における多中心性再発・肝内転移の抑制、転移形成後腫瘍増殖の抑制が重要である。我々は過去にFABP5が非癌部と比較して肝細胞癌に発現していることを世界で初めて報告した。

【方法】

- ① 過去10年間のHCC切除症例組織に対し抗FABP5抗体を用い免疫組織化学染色を行った。
- ② 肝癌細胞株であるHepG2でFABP5過剰発現株、Li-7でFABP5発現抑制株を作製し、悪性度の検討を行った。
- ③ 皮下注モデル：ヌードマウスを用い、肝癌細胞株を肩甲下に皮下注した。肝内転移モデル：ヌードマウスに肝癌細胞株を選択的に門脈右枝に注射し肝表面の肝転移巣数を計測した。肺転移モデル：ヌードマウスの尾静脈に肝癌細胞株を注射し、肺転移巣の有無を確認した。
- ④ PCR ArrayとWestern BlotでFABP5の悪性度にかかわる遺伝子発現プロファイリングを解析した。

【結果】

- ① 全症例中57.2%にFABP5発現を認めた。予後・再発の検討ではFABP5陽性群は陰性群と比較して予後、再発いずれにおいても予後不良であった。
- ② FABP5発現抑制により悪性度が優位に低下し、FABP5発現により悪性度が優位に亢進することが確認された。

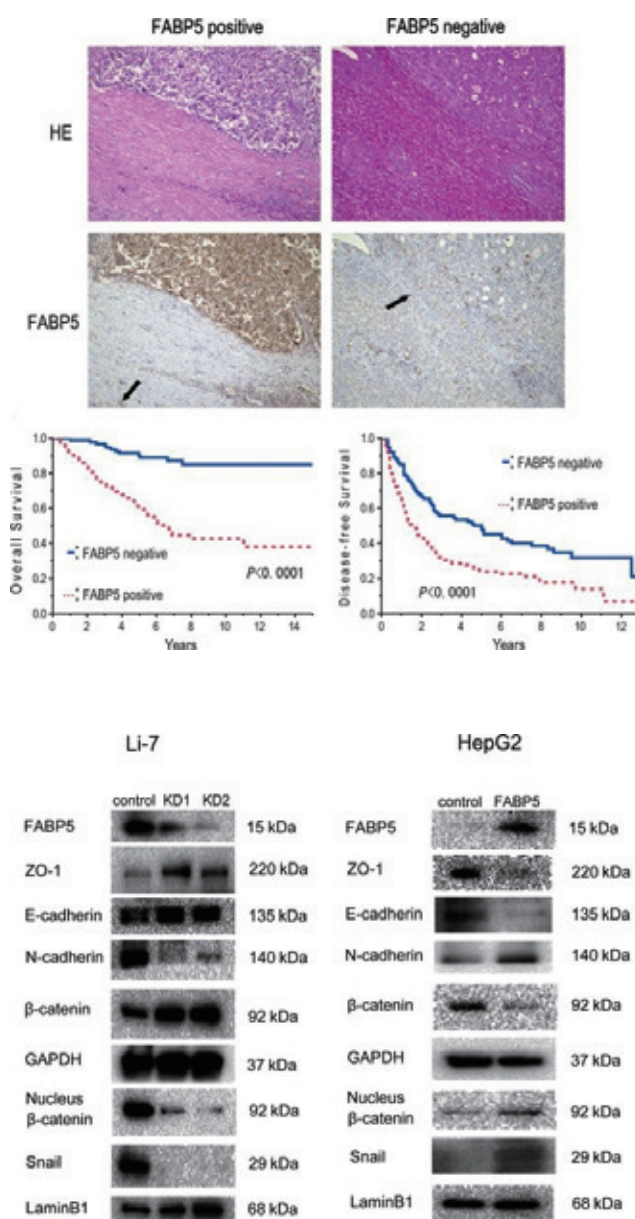
- ③ マウス皮下注モデルではFABP5高発現株による腫瘍が低発現株よりも優位に腫瘍積が大きく、肝転移、肺転移モデル双方においてFABP5高発現群で転移形成を確認した。

- ④ PCR Array、Western Blot法にてFABP5発現の抑制にてEMT関連分子発現が低下することを確認した。

【結論】

FABP5が新たな肝細胞癌の悪性度バイオマーカーおよび分子治療ターゲットとして臨床応用されることが強く期待できると考えられた。

Figure



■ 学位取得者（修士）

大谷 晋太郎

■ 学位取得年月

2017年3月



■ 学位論文名

「心筋細胞の低温酸素化/復温に対する新規抗酸化物の保護効果の検討」

(A novel antioxidant confers protection against cold preservation injury in cardiomyocytes)

■ 要 旨

【背景と目的】

ドナー不足は移植医療の課題であり、解決策の一つとして EOD グラフトの活用が模索されてきた。単純冷保存の限界を克服する方策として、低温酸素化灌流の有用性が報告されたが、低温下でのミトコンドリア機能や酸化ストレスの推移は不明な点が多い。本研究では、冷保存許容時間が最も短い臓器の一つである心臓の低温酸素化/復温における天然物由来新規抗酸化物（物質X）の障害軽減効果と作用メカニズムを検討した。

【材料と方法】

心筋細胞（H9c2）を用いて、低温酸素化灌流を模した *in vitro* 48時間低温酸素化/復温モデルを作成し、細胞死、ミトコンドリア機能、生存シグナル、酸化ストレスを評価した。

【結果】

無治療群では死細胞が増加し、冷保存終了時・復温後のミトコンドリア機能が低下した。物質Xの復温時投与は無効であったが、冷保存時投与ではこれらの変化が著明に抑制された。冷保存時投与では、復温後の生存シグナルカスケード（PI3K/ Akt/ mTOR/ p70S6K）の活性化、レドックス状態の改善、脂質過酸化の抑制、Antioxidant responsive element（ARE）結合転写活性因子（Nrf2ではなくc-Jun）の核内移行と引き続き抗酸化タンパク（HO-1, NQO1）の発現が増強した。

【結論】

物質Xは低温酸素化/復温による細胞死、ミトコンドリア障害、酸化ストレスを軽減した。生存シグナル活性維持やAREを介する抗酸化タンパクの発現増強が復温後の障害進展の抑制に関与した。物質Xは低温酸素化灌流による心臓修復に有用と考えられた。

■ 代表的なfigure, table（2, 3個）

図1. 物質Xによる細胞死抑制効果

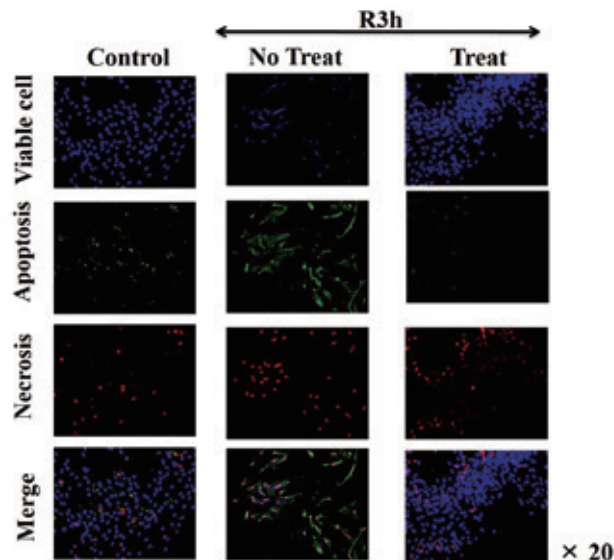
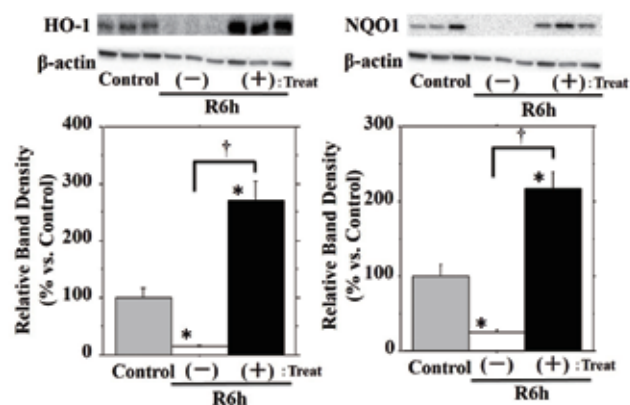


図2. 物質Xによる抗酸化タンパクの発現増強効果



■ 学位取得者（修士）

橋本 咲月

■ 学位取得年月

2017年3月



■ 学位論文名

ラット脂肪肝における温虚血再灌流障害のメカニズム解明
—イメージング質量分析法による新規予後予測マーカーの探索—

■ 要 旨

【背景と目的】 癌治療のための肝切除や心停止ドナーの肝移植グラフトにおいて、温虚血再灌流障害が問題となり、脂肪肝ではその障害が増悪することが知られているが、未だそのメカニズムは完全には解明されていない。本研究では、凍結切片から網羅的にかつ局在情報と共に分子を解析できるイメージング質量分析（imaging mass spectrometry; IMS）を用いて、脂肪肝の温虚血再灌流で早期に変動し、障害の予後を予測し得るマーカーを探索することを目的とした。

【方法】 ラットを正常肝群、脂肪肝群に分け、45分、75分の70%温虚血、再灌流を施した。虚血前、虚血終了時、再灌流後1時間、6時間の肝臓、血液を採取し解析した。従来法の血中ALT、AST活性、病理学的組織評価、アポトーシス、ATP定量により障害程度を評価し、IMSで得られた結果を専用ソフトにより解析し、変動分子を検出した。

【結果と考察】 正常肝と脂肪肝の群間、あるいは経時的に変動する、239種類のピークを検出した。温虚血中に血中ALT活性、組織傷害スコアは、有意差を認めなかったが、IMSで検出したLysophosphatidylinositol（18:0）（LPI: m/z 599.4）は脂肪肝の門脈周囲で著明に増加し、門脈内皮に発現したcPLA2活性との関係を示唆した。

【結語】 LPI（18:0）は脂肪肝の温虚血再灌流において障害の顕在化に先んじて温虚血中に増加したため、予後予測マーカーとしての有望性と、IMSの有用性が示唆された。

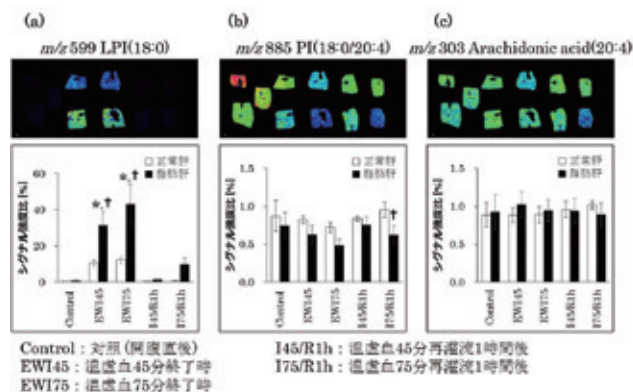


図1 着目分子の変動パターン

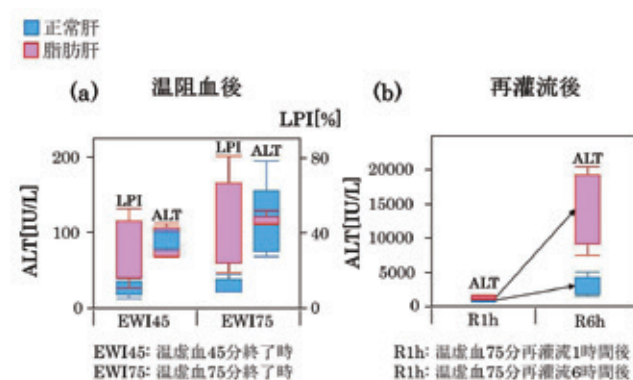


図2 LPIとALTの経時変化の比較